

議会からのたより



発行：遠別町議会

編集：議会報発行特別委員会

議会の主な動き

(令和元年5月1日～7月31日)

- 5月13日
管内町村議会議長会定期総会に議長出席
- 5月15日
留萌地域総合開発期成会定期総会出席のため議長留萌市に出張
- 5月26日
遠別町消防団春季消防演習に議長外議員多数出席
- 5月27日
第1回議会全員協議会開催
- 5月31日
遠別町植樹祭に副議長外議員多数出席
- 第1回議会運営委員会開催
- 6月11日～12日
北海道町村議会議長会第70回定期総会及び研修会に出席のため議長札幌市に出張
- 6月14日
第2回議会全員協議会開催
- 6月23日
陸上自衛隊留萌駐屯地創立66周年記念行事に出席のため議長留萌市に出張
- 6月24日～27日
留萌地域総合開発期成会臨時総会及び札幌要望・中央要望のため議長留萌市・札幌市・東京都に出張
- 6月25日～26日
北海道町村議会議員研修会に出席のため議長外議員8名札幌市に出張
- 6月28日
一般道道名寄遠別線建設促進期成会定期総会に議長及び総務産業常任委員長出席
- 7月2日
第1回議会報発行特別委員会開催
- 7月19日
第3回議会全員協議会開催
- 7月22日～24日
一般道道名寄遠別線建設促進期成会中央要望のため議長東京都に出張
- 7月26日
第2回議会報発行特別委員会開催
- 7月28日
第27回さわやかスポーツ祭りに議長出席
- 7月30日
遠別町・天塩町共同斎場火入れ式に議長外議員多数出席

第4回定例会

主な審議事項

- ◆ 6月14日から17日までの4日間を会期として開催し、報告2件、条例の一部改正等7件、工事請負契約の締結2件、補正予算1件、意見案1件、発議2件の合計15件の議案が提案され、原案どおり可決し、会期を3日残して閉会した。一般質問は、山本議員、山下議員、大石議員、小森議員の4名が行った。
- ◆ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ◆ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ◆ 税条例等の一部改正について
- ◆ 墓地及び火葬場条例の一部改正について
- ◆ 介護保険条例の一部改正について
- ◆ 森林環境譲与税基金条例の制定について
- ◆ 工事請負契約の締結について 2件

主な補正予算

- ◆ 【一般会計】
- ・ 森林環境譲与税基金積立金 934万4千円新規
- ・ プレミアム付商品券事業費 1729万円新規
- ◆ 日本ホイス ト 株式会社 (広島県)
- ◆ 契約金額 1億5035万9千円
- ◆ 契約の相手方 株式会社 共栄

報告

- ◆ えんべつリゾート開発株式会社社の経営状況について
- ◆ 繰越明許費繰越計算書について

意見案

- ◆ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ◆ 提出者 小森議員
- ◆ 賛成者 柏谷議員、山本議員
- ◆ 意見案は採択され、国の関係機関に送付した。

- ◆ 工事名 公営住宅建設工事 (建築主体工事)
- ◆ 契約金額 8547万円
- ◆ 契約の相手方 株式会社 共栄

発議

◆議会報発行特別委員会の設置及び委員の選任について

議会報発行特別委員会	
委員長	小森 嘉孝
副委員長	山下 悟
委員	白井 金治

第5回臨時会

7月19日に開催し、条例の一部改正1件、補正予算1件の合計2議案が提案され、原案どおり可決した。

主な審議事項

◆遠別町・天塩町共同斎場設置及び管理条例の一部改正について

主な補正予算

【一般会計】

・中学校全道大会出場補助金
(野球・男子バレーボール・)

女子バレーボール・剣道)

172万4千円新規

・スポーツ少年団全国大会出場

補助金 (バレーボール)

235万2千円新規

町長からの行政報告(抜粋)

滞納繰越につきましては個人町民税、固定資産税、国民健康保険税は昨年と比べると大幅に減少しており、ここでも担当課の努力が垣間見えるところであります。今後も納税者の公平性を保つために、税・保険料の徴収について、引き続き、完納を目指して努力をしていきたいと考えております。

町税・保険料の完納について



税・保険料の徴収につきましては、担当課が毎年度、完納を目指し、鋭意努力をしてきたところでありますが、この度、平成30年度現年度の個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料が5月16日をもって完納となりましたのでご報告をいたします。個人町民税及び国民健康保険税は3年連続、また、平成29年度まで、完納に至っていなかった、固定資産税につきましても、平成30年度分が新たに完納となり、特に、国民健康保険税の連続完納については、全国的にも珍しく、北海道からも労いの言葉をいただいております。町税・保険料が連続して完納に至ることは、町民の皆さんの納税意識が向上したことに加えまして、担当課のたゆまぬ努力の結果であると思っております。



第5回臨時会

下水道工事による水道漏水事故について

7月2日午後4時半頃、同じく7月18日午後3時半頃、緑町地区で施工している下水道雨水管渠布設工事において、水道本管を断裂する漏水事故が相次いで発生しました。事故発生後、双方向システムにより「漏水事故のお知らせ」を周知すると共に、直ちに復旧作業に取りかかり、一部地域の断水により、概ね3時間程度で復旧することができました。今回の件で多くの家庭に濁り水を供給したこと、また、公衆浴場である「なごみ」において、臨時休業となってしまうことに対し、深くお詫び申し上げます。今後も、工事施工の際には、受託者に対し、水道管などの埋設物の確認を徹底していただき、発注者としても強く指導して参りたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



第 4 回 定例会「一般質問」



高齢者世帯への住宅入居支援

Q【山本議員】

①住宅に困窮する高齢者が入居できる、遠別町独自の優遇措置や高齢者世帯の優先入居などの支援について。
②高齢者世帯の安心・安全が担保されるケアサポートをどう進めていくのか。

A【笹川町長】

①高齢者世帯・母子世帯など社会的経済情勢に照らし、地域の実情を踏まえ選考するとされており、選考委員会においても、同様の取扱いにより、入居者の選考をしている。町独自の基準等を設けることは予定していない。
②高齢者等見守りネットワーク事業では、一人暮らし高齢者等の見守りについては、「緩やか

な見守り」を行い、異変を発見した場合に、町へ連絡をいただき、町では関係機関や地域と連携して対応している。
今後混在型住宅の建設を進めて行き、できる限り住み慣れた地域での暮らしが続けられるように、生活支援、福祉サービスを提供していく。



再質問

Q【山本議員】

①一定基準収入以下の方の減額措置規定を設けて、軽減を図ることはできないか、一步踏み込んだ考えを伺う。

A【笹川町長】

①公営住宅の入居基準の緩和は難しい。
国土交通省から、「公営住宅に係る入居の取扱いについて」の通知がきている。十分検討していきたい。

テレワークのプロモーション

※テレワークとは
ICT機器、インターネットを活用し、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のこと。

Q【山下議員】

働き方改革を進めるに当たり、テレワークが注目されている。テレワークを実施している企業も年々増加しており、また、本町ではテレワークに欠かせないインターネットが町内ほぼ全域で利用できるため、町外企業等にプロモーションをすべきではないか。

A【笹川町長】

テレワークの特徴は場所、時間にとらわれない柔軟な働き方と認識しており、また、一方で労働時間が長期化し易い傾向など問題点がある。しかしながら人の流れを作



るために「しごと」が必要である。平成27年度から新規施策として実施している「起業化支援事業」と合わせて、本町の資源である光ファイバー網を活用したテレワーク事業の問題点を検証しながら地域活性化に繋がる方策を考えたい。

再質問



Q【山下議員】

現段階でプロモーション、PRの構想などあれば伺いたい。

A【笹川町長】

今すぐとはならないが、町長になってから光ネットワークを活用してコールセンターを誘致できないか構想を温めていた。これは私一人で行うことではなく、議員、町民のご意見をいただきながら進めるべきだと思っている。いつまでも般に閉じこもってはいは事が進まないため、一歩ずつ進んでいきたい。

A 【笹川町長】 道の駅「富士見」は平成5年度に道内8番目の道の駅として認定されて以来、遠別の観光拠点としての役割を担っている。

新しい道の駅建設工事については計画どおり順調に進んでおり、本体工事は8月、外構工事は11月に完成を目指している。また、道の駅施設オープン後は令和2年4月を予定、現在指定管理者内定事業者と、施設運営の準備を進めている。

道の駅の名称については、道の駅施設検討委員会において、道

Q 【大石議員】 現在の道の駅の名称「富士見」は道の駅が新しくなる際に名称が変更されることと思う。新しい名称がいつ頃、どのような方法で決まるのか。既に決定されているのであれば、その名称とその周知の方法はどのようにするのか伺う。



道の駅の名称



の駅「えんべつ富士見」の名称で進めることとし、本体工事終了後に北海道開発局へ名称変更の手続きを進め、国道及び道道などに設置されている案内看板を変更していただく。

住民の皆様への周知については広報紙や双方向システム、町外の方々には各種イベントや来年3月開通予定の深川留萌自動車道開通に合わせて、PRや道の駅連絡協議会、報道機関等と連携し、広く周知する。



Q 【小森議員】 河川公園は、一体的な安全柵の設置をし、安全な遊歩道の整備を進めるべきでは。

再質問

A 【笹川町長】 富士見ヶ丘公園、道の駅「富士見」と一体となった観光拠点で24年経過している。①遊歩道の整備は適切な維持管理が必要であると考えている。②安全性と景観を考慮しながら検討していきたい。③老朽化し、文字が見えない状況は、来年度に対策をしたい。

Q 【小森議員】 道の駅もリニューアルされ、今まで以上に河川公園も観光客や町民の憩いの場所になると思う。

①遊歩道の整備は？
②池回りや小川に安全柵の設置は？
③案内看板の更新整備についての計画は？

河川公園の安全性

A 【笹川町長】 安全な公園管理は、施設管理者としての役目であり、検討を加えながら安全対策を行っていききたい。

A 【笹川町長】 ①今後も、必要な施設の維持補修を行っていく。②北海道と協定を結び、浚渫や流木除去などの対応がされている。子どもから大人まで、水と触れ合う場所として貴重な施設であると認識しており、海水浴場として、継続していく。

Q 【小森議員】 ①センターハウスの老朽化に対する、改修の計画はあるか。②海水浴ビーチとしての機能維持は難しいと考えるが、今後の対応はどうなる？

みなくるびーち



現在の河川公園



現在のみなくるびーち

管内町村議会議長会表彰



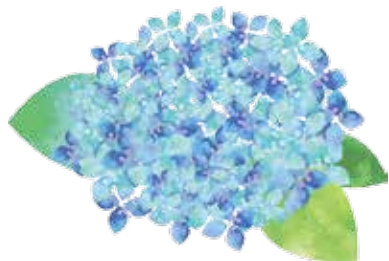
6月17日、留萌管内町村議会議長会臨時総会で、令和元年度自治功労者として「町村議会議員として12年以上在職」の木村秀雄議員の表彰が決定、7月19日開催の第5回臨時会に先立ち、西畑広男同議長会会長から、表彰状が贈呈された。



道町村議会議員研修会

6月25日、北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、道内各地から議会議員、事務局職員が参加し、遠別町からも議員9名全員、事務局職員1名が出席した。

政治評論家の有馬 晴海氏は「どうなる？今後の日本政治」と題し講演を行い、中央大学名誉教授の佐々木 信夫氏は「地方は変わるか、自治体はどう変わるか」と題しての講演があり、最近の政治情勢、地方自治における議会の在り方など貴重な話が聞け、今後の議員活動において、大変参考になる研修会であった。



有馬 晴海氏



佐々木 信夫氏

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**9月中旬**の開催予定です。

詳しくはテレビ電話でご確認ください。

【お問い合わせ】

議会事務局

電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



議会報発行特別委員会設置

第4回定例会で、議会報発行特別委員会が設置され、3名の委員が選任された。



小森 嘉孝 委員長

3名体制の広報委員会として、新しい話題も盛り込みながら、読みやすく理解しやすい広報となるように取り組んでいきます。ぜひ、年4回発行の議会報のご愛読をよろしくお願い申し上げます。

山下 悟 副委員長

町民の皆様がご覧いただいでわかりやすい、また、興味がわくような記事作成を心がけ、議会報を通じて皆様にお知らせできるよう励んでまいります。よろしくお願い申し上げます。

白井 金治 委員

委員として、町議会に町民の皆様方が積極的に参加できるよう広く情報等を、発信していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

議員出席状況

令和元年5月1日～令和元年7月31日

区分 議員名	定例会・臨時会			常任委員会等			特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤		
	出席内容			欠席内容			出席内容			欠席内容					
	開催 日数 ①	全日 出席	遅刻 早退	出席 日数計 ②	慶 弔	病 欠	そ の 他	総務 産業	文教 厚生	議会 運営	全 員 協 議 会	議 会 報 発 行		開 催 日 数 計 ③	出 席 日 数 計 ④
西畑 広男	3	3		3			3	3			3	6	6	100.0%	
小森 嘉孝	3	3		3			6	6			6	9	9	100.0%	
白井 金治	3	3		3			5	5			5	8	8	100.0%	
柏谷 美春	3	3		3			4	4			4	7	7	100.0%	
木村 秀雄	3	3		3			3	3			3	6	6	100.0%	
千葉 光悦	3	2		2		1	3	2			2	6	4	66.7%	
大石 幸夫	3	3		3			3	3			3	6	6	100.0%	
山下 悟	3	3		3			5	5			5	8	8	100.0%	
山本 仁美	3	3		3			4	4			4	7	7	100.0%	

訂正

議会からのたより第38号（広報えんべつ6月号）の13ページ「議員構成」で、木村秀雄議員の当選回数を「3回」と記載しましたが、正しくは「4回」でした。訂正してお詫びいたします。

あとがき（小森 嘉孝）

遠別農業高校生徒2名と共栄の「水稻発祥の碑」、清川の「日本最北の水田看板」と圃場を見て回り、遠別の地に新たな発見をしたと、目を輝かせている生徒を見て、「将来農業者に！」と、小さな希望を持った。

令和元年度の改選において、新たな議員構成となり、4年間の任期において各議員がそれぞれの分野での活躍が期待されています。少子高齢化が進む中で、町民と共に豊かな町づくりを進めなくてはなりません。町政に対して、ご意見をお寄せください。

